

## こんどは粉じん量と格闘です 郊外店はおおむねOK、駅前が…

社会貢献環境対策委員会委員長 薛 博夫



タバコのけむり、好きですか？  
昨年は、夏の節電対策で燃え尽きた社会貢献環境対策委員会でした。が…年末になって、受動喫煙防止法案のニュースが…これって、お客様の、禁煙だ分煙だ、の話ではなく、社員の受動喫煙防止策なんだ！と。このとき初めて認識とは、だいぶ鈍い委員長ですね。

閣議決定したのは、厚生労働省の「労働安全衛生法の一部を改正する法律案」。まだ、国会は通っていないませんが、いずれ、時間の問題でしょう。

イメージとしては、完全分煙したホールの喫煙スペースに、お客様は入れても従業員は（ガスマスクなしでは）入れない。そりゃ無理な相談だと思えますが…罰則規定はありません。でも、社員の健康被害で訴訟になれば当然、企業側は敗訴ですよ。

…で、この法案にはいわゆるサービス業への配慮があります。0・15mg/m以下の粉じん量（または換気量）を守れば当面はOKとのことなのです。…ということでは、今年最初の仕事は、粉じん量測定となりました<sup>(^)</sup>



中国・旅順駅で長距離列車に乗った薛委員長

パチンコ店の粉じん量が、果たしてどのくらいのものか、まったく見当もつきません。100倍だったかどうかどうしようなんて考えながら、とりあえず、身近な店を測ってみたところ、おおむね0・15mg/m以下に収まっていました。一安心。ただし、これは郊外店の例だし、測定時の喫煙率や、測定ポイントの数なども簡易的なので、あくまでも参考例です。

それでも、10倍100倍でなかったのも事実。どうやら「パチンコ店でも手の届く範囲の基準かも」と意を強くし、ホール5団体環境実務者会議にも報告、日遊協会員、同友会会員と、測定ホールを広げてデータ収集をしている段階です。



Gといったところでしようか。今後は、数値を上回るホールの改善策を検討したいと思います。

最後に、写真は、旅順駅のプラットフォームです。1日2本しかない（旧満州鉄道）大連行き（列車）に乗り込みました。始発駅なので、車両ごとに車掌さんが整列して、はるか昔にタイムスリップしたような感覚です。大連まで2時間、日本円で65円！この列車、そのまま吉林省を走り続ける長距離列車で、時刻表だと36時間も走り続ける…すっげー！鉄道ファンの方、乗るなら今のうちにどうぞ、「坂の上の雲」ファンには特にお勧めです。